

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号  
TEL:083-252-0288 (代表) FAX:083-252-8099  
URL:https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/

<b>件 名</b>	<b>2019年度 地域共創研究報告会の開催について</b>			
<b>内 容</b>	<p>下関市立大学附属地域共創センターは、「共創による大学づくり」のコンセプトのもと、地域のシンクタンクとして機能すべく様々な活動を実施しております。その活動の一つに本学教員が地域貢献の観点から地域課題を見出し、その課題解決に取り組むことを目的とした地域共創研究があります。この度、2018（平成30）年度研究の成果報告を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。</p> <p>【日時】2019年6月6日（木）18:30～19:30 【場所】下関市立大学本館2階I-206教室 （下関市大学町二丁目1番1号） 【内容】報告「酒蔵を核としたまちづくりと観光の可能性」</p> <p style="text-align: center;"><small>なんぼとしみつ</small> 難波 利光 下関市立大学 教授</p> <p>【定員】70名 【参加費】無料 【申込】事前のお申込みは不要です（団体でのお申込みはご連絡ください）。</p> <p>※取材のお申込みは、下記担当までご連絡下さい。 ※内容詳細は別紙をご確認ください。</p>			
<b>問い合わせ先・担当者連絡先</b>				
経営企画グループ長	地域共創班長	担当者	連絡先	
きしもとみつひろ	たかしまちゆき	みやもとよし	083-254-8613	
岸本充弘	高島千之	宮本起禎		
提出日	2019年5月22日	広報連絡先 (経営企画班)	Tel.083-254-8707	koho@shimonoseki-cu.ac.jp

# 下関市立大学 地域共創研究報告会

地域共創研究とは、本学教員が地域貢献の観点から地域課題を見出し、その課題解決に取り組むことを目的とした研究です。この度、2018（平成30）年度研究の成果報告を下記のとおり開催いたしますので、市民の皆様及び本学学生の多くのご参加をお待ちしております。

※今回の報告は、2年の研究期間のうち1年目終了段階の中間報告です。

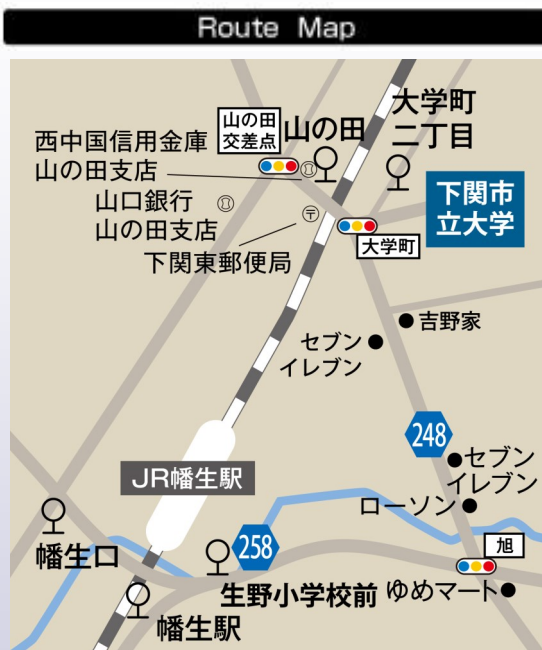
## 【報告】酒蔵を核としたまちづくりと観光の可能性



難波 利光  
経済学部 教授

社会資源を活用した酒蔵の観光まちづくりについて考える。研究の対象である兵庫県にある灘の酒は3大酒処の1つである。灘地域は、酒蔵を活用し観光やまちづくりに取り組んでいる。この取組は、神戸市、西宮市、灘五郷酒造組合、阪神電気鉄道株式会社の4つが官民一体となるモデルとして行われている事例である。

歴史のある街が、観光やまちづくりをどのように今後形成していくのかについて、各機関へのヒアリングと歴史的資料を基に考察を行った。そこには、他地域やインバウンドを意識した観光戦略と酒蔵の経営問題を内在した課題を秘めた現状が見えた。



- ◆日時：6月6日(木)  
18:30~19:30 (質疑応答含む)
- ◆場所：下関市立大学本館2階 I-206教室
- ◆定員：70名
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：不要(団体でのお申込みはご連絡ください)
- ◆駐車場に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

■お問合せ 下関市立大学附属地域共創センター

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 E-mail [chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp](mailto:chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp)